

♪ 2020年度 *poco a poco* ♪

Nr. 22

2021年2月25日(木)

文責:プファイル・辰巳

ラストスパート、3学期!

中学部の学年末試験が終わり、小学部の対面授業が始まったとたんに、3月がやってきます。現学年のメンバーで授業できるのは、もう数えるほどの日数になってしまいました。ふだん通りにできなかったことがたくさんあり、悔しい気持ちを抱えたまま春休みを迎えることになりそうです。でも、「できなかったこと」を数えるより、それでも「何か達成できたこと」や「感謝できること」に目を向け、ポジティブな気持ちで新学年を迎えて欲しいものだと思っています。残りわずかですか、少しでもお友だちと楽しい思い出を作ってくださいね。



ミニコンサート について

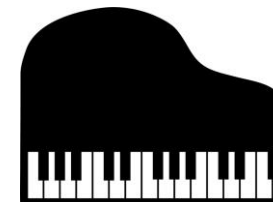
2020年度はコロナ感染対策のため、さまざまな行事が実施不可能となりました。音楽科で開催しておりました「全校音楽鑑賞会」や各学期のミニコンサートも、とうとう今

年度は実施できませんでした。大変申し訳なく、また残念に思っています。ミニコンサートにつきましては、アンケート調査でご意見をいただき、3学期は、音楽室から子どもたちの合奏風景などをZoom等で配信することも検討していました。しかし、オンライン授業が思いのほか長引き、対面授業が始まったのが小学部の先週から。しかも、週1回だけの授業で、合唱もできず、リコーダーや鍵盤ハーモニカを合奏することもできません。マスクをつけたままハミングで歌ったり、ミニ鉄琴でリコーダーや鍵盤ハーモニカのパートを、仮に練習したりしている状態です。あまりの制限の多さに四苦八苦してきました。このような状況を鑑みて、残念ではあります

が、今年度の発表は見送らせていただきたいと思います。悪しからずご了承ください。

コロナ感染防止のための制限が、4月以降どのように続くのか、あるいはいつ頃解除されるのか定かではありませんが、2021年度以降のミニコンサートの開催の仕方について、今後も検討が必要かと思われます。なんらかの対策を講じながら、ミニコンサート再開に向けて努力したいと思っています。

今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



音楽こぼれ話 <語源を探ろう ⑨

オクターヴ >

西洋音楽における8度音程、例えばドから次のドまでの音程を「1オクターヴ」と呼んでいます。ピアノの鍵盤の幅ですと、1オクターヴは約18cm。オクターヴを片手でポンと押さえられるようになると、ピアノの練習が少し楽になりますね。また一般の人が出せる声域は、約2オクターヴと言われています。

さて「オクターヴ」という言葉は、ラテン語の「octavus」に由来しており、「8番目」という意味があります。つまり「ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ド」と数えると、次のドは8番目の音になるからです。

海にいるタコは8本足。だから「オクトパス」。やはり数字の8が関わってきますね。西洋のお城や教会でよく見かける高い「塔」。円柱形が多いですが、中には六角柱や八角柱の塔もあります。八角柱の塔は「オクタゴン」と呼ばれます。最近では、総合格闘競技大会(UFC)の八角形の金網に囲まれたリングもオクタゴンと呼ばれています。

ちなみにアメリカ国防総省は「ペンタゴン」。五角形の建物だからです。ペンタには「5」の意味があり、音楽用語の「ペンタトニック」は5音音階を意味します。また「トリゴン」や「トライアングル」は3に、「テトラゴン」や「テトラパック」は4に由来しています。(テトラパックは三角柱ですが4面体です。)

ここで疑問に思われた方はおられませんか。「10月のオクトーバー」。オクトがつくのになぜ10月なのか。調べてみると答えがちゃんとありました。古代ローマでは、1年の始まりは3月だったそうです。3月から数えると、確かに10月が8番目の月になります。だから「オクトーバー」。やはり8が関係していました。

